

科目分類	いのち・人間の教育			開講学科	全学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
18032	1	前期	選択	2	30
授業科目名 (英文)	中国語 (Chinese)				
担当教員名	李 克城				
授業の概要及び到達目標					
この講座では中国語の日常会話ができるようになることを目標とする。そのために、日常的な場面を数多く設定し、その場面においてどのような表現がなされるかという実用的パターン・プラクティスを重視する。音声面にも力を入れたい。基本的な文法を基に生活の中で使われる中国語の習得を目指したいと考える。そして東アジア圏の中国の現状や生活、文化に触れ、中国語のみならず「中国」入門の講座としたい。					
準備学習等					
1回 中国の文化、漢字と発音。 テキストの P6～P9					
2回 テキストの P8～P13 CD3. 4. 5 を聞いて発音練習すること。					
3回 テキストの P8～P14 CD6. 7. 8. 9. 10. 11 を聞いて発音練習すること。					
4回 テキストの P13～P17 CD13. 14. 15. 16. 17. 19 を聞いて発音練習すること。					
5回 テキストの P17～P22 CD20. 21. 22. 23. 25. 26 を聞いて発音練習すること。					
6回 テキストの P22～P27 CD27. 28. 29. 31. 32. 33 を聞いて発音練習すること。					
7回 テキストの P27～P31 CD34. 35. 37. 38. 39. 41 を聞いて発音練習すること。					
8回 テキストの P31～P35 CD41. 43. 44. 45. 46. 47 を聞いて発音練習すること。					
9回 テキストの P35～P39 CD47. 49. 50. 51. 52. 53 を聞いて発音練習すること。					
10回 テキストの P39～P43 CD53. 55. 56. 57. 58. 59 を聞いて発音練習すること。					
11回 テキストの P43～P47 CD59. 61. 62. 63. 64. 65 を聞いて発音練習すること。					
12回 テキストの P47～P51 CD65. 67. 68. 69. 70. 71 を聞いて発音練習すること。					
13回 中国のビデオ視聴					
14回 テキストの P63～P66					
15回 練習問題まとめ					
成績評価の方法	授業参加の積極性（発音練習、会話練習）40%、期末試験 60% 但し中国語検定試験 4 級以上を取得しているか、またはそれに相当する学生については試験による評価の割合を高くする。				
テキスト	「中国語はじめの一步」竹島 金吾 監修 尹 景春 竹島 毅 著 (株)白水社 2012年3月10日 第1刷発行				
参考図書	上記に同じ 「大地」パール・バック 「三国志」吉川 英治				

備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業開始 20 分以後の入室は、原則として禁止。</li> <li>・質問は授業後も受け付ける。</li> <li>・中国のニュースや映画を見たり、中国の文化や歴史について書かれた本を読んだりすることで理解が一層深まると思います。</li> <li>・卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。</li> </ul>
授 業 計 画	
<p>第 1 回:中国とは 中国語とは 発音の練習 中国語で話してみよう</p> <p>第 2 回:発音 数字を言ってみよう 単語から文へ</p> <p>第 3 回:発音 中国語で話そう</p> <p>第 4 回:人称代名詞 ‘是’ の文 トレーニング (応用問題)</p> <p>第 5 回:指示代名詞 1 疑問詞 トレーニング (応用問題)</p> <p>第 6 回:動詞の文 トレーニング (応用問題)</p> <p>第 7 回:量詞 指示代名詞 2 トレーニング (応用問題)</p> <p>第 8 回:日付 時刻 トレーニング (応用問題)</p> <p>第 9 回:時態助詞 トレーニング (応用問題)</p> <p>第 10 回:介詞 1 所在を表す ‘在’ トレーニング (応用問題)</p> <p>第 11 回:介詞 2 所在を表す ‘有’ トレーニング (応用問題)</p> <p>第 12 回:助動詞</p> <p>第 13 回:ビデオ教材で中国の生活の様子を知る</p> <p>第 14 回:練習問題</p> <p>第 15 回:まとめ</p>	